

2006 史学会第一〇四回大会プログラム

場 所 東京大学（本郷）

十一月八日（土）

公開シンポジウム 法文二号館一番大教室 午後一時

「国民国家という問題——歴史の重みとどう向き合つか——」

趣旨説明

報告 大衆の国民化と民族化——植民地期朝鮮の事例から——

南アジアの「国民国家」とシテイズンシップ

「国民国家」症候群とロシア・ソ連

コメント

討論

岸本 美緒
並木 真人
佐藤 宏
石井 規衛
三谷 博

総 会 山上会館 午後五時半

懇親会 山上会館 午後六時 会費 三〇〇〇円

十一月九日（日）

部 会

日本史部会

第一会場（古代・中世）法文一号館一番大教室 研究発表 午前九時

日本史部会シンポジウム「前近代の日本列島と朝鮮半島」 午後一時

第二会場（近世）法文一号館一番大教室 研究発表 午前九時半

第三会場（近現代）法文一号館二一番教室 研究発表 午後一時

東洋史部会 法文一号館一三番教室 研究発表 午前一〇時

西洋史部会 法文一号館二五番教室 研究発表 午前一〇時

日本史部会

第一会場(古代・中世) 法文二号館一番大教室

研究発表(午前九時～一二時)

- 1 古代寺院所領の展開と律令国家
 - 2 評制施行の時期をめぐって
 - 3 雨僧正仁海の祈雨と五龍祭
 - 4 日宋貿易における年制管理と住蕃貿易の展開
 - 5 伊東マンショ未紹介史料をめぐる多角的考察
 - 6 債券としての中世請取状
- 日本史部会シンポジウム「前近代の日本列島と朝鮮半島」(午後一時～五時)
- 趣旨説明・司会 佐藤 信・藤 寛
- 報告
- 1 九世紀における日本と新羅の対外交通
 - 2 長江以南の新羅人交易者と日本
 - 3 一四世紀後期における日麗・日朝通交の変容と対元・対明関係
 - 4 「朝鮮押えの役」はあったか
- コメント

北原 祥安
須原 隆二
山口 隆宏
河辺 健朝
伊川 今男
井原 今朝男
信・藤 寛

第二会場(近世) 法文二号館二番大教室

研究発表(午前九時三〇分～一二時)

- 1 会津の商人司築田氏と商人仲間
 - 2 大名の家に着目した藩研究の可能性
 - 3 近世寺院領主の権力構造
 - 4 越後国古志郡蔵王権現別当安禅寺を素材として
 - 5 近世中後期の公家の慧星観
 - 6 アヘン戦争・オランダ・風説書
- 第三会場(近現代) 法文一号館二二番教室
- 研究発表(午後一時～五時)
- 1 万延元年日普条約交渉過程の検討——プロイセン側史料を中心に——
 - 2 相続税制に見る「家」問題
 - 3 「公共空間」としての百貨店——一九二〇～三〇年代の東京を中心に——
 - 4 戦前期における大都市呉服系百貨店の通信販売
 - 5 「消費の在来性」と地方進出戦略
 - 6 戦前期電鉄業の兼業——電力と百貨店を中心に——
- 清水澄の憲法学と昭和戦前期の宮中

佐藤 宏成
牧原 征之
佐藤 愛子
武部 愛子
杉部 岳志
松方 冬子
福岡 万里子
近藤 秀行
近藤 智子
菅嶋 蘭人
満谷 幸浩

東洋史部会 (法文一号館二二番教室)

研究発表(午前一〇時～一二時)

- 1 元代の官僚処罰規定について
 - 2 明末清初における芝居の盛行と清朝の戲禁政策
 - 3 一八世紀におけるイエズス会士と中国音楽
 - 4 史料題本糾参処分類を利用した社会状況の復元
 - 5 広東沿海の船戸を例として
 - 6 義和団事件期救済善会の創設と赤十字活動
 - 7 旅行記に見る「内地」知識人の台湾観——大正後期から昭和初期にかけて——
 - 8 セルジューク家の権威の形成——一四世紀を中心に——
 - 9 オスマン朝におけるカユ裔の正統化——オグズ伝承の分析を通じて——
 - 10 前期アフマド・シャー朝史の再検討——軍事行動の分析を中心に——
 - 11 清朝と中央アジア諸勢力との政治的關係に関する一考察
- 研究発表(午後一時～四時三〇分)
- カザフのアブライとの關係を中心に——
- 一九世紀インド洋西海域における奴隷交易の特質に関する一考察
- 転売されるインド人少女たちの事例から——

工藤 正健
村上 和子
新村 洋子
新居 康史
豊岡 康史
田中 辰宜
川副 悠史
大塚 悠修
小笠原 弘幸
小林 理修
小沼 孝博
小沼 孝博
鈴木 英明

西洋史部会 (法文一号館二二五番教室)

研究発表(午前一〇時～一二時四〇分)

- 1 タンスにおける地下資源と国家統合
- 2 コンスタンティノポリスとアンティオキア
- 3 リバニオス書簡にみる都市参事会員——
- 4 礼拝堂付き司祭の生成——カンブレール司教座聖堂を中心に——
- 5 中世後期ロンドンのミンストレルの遺言書
- 6 中世末期ロンドンにおける女性のライフサイクルと労働
- 7 シルクウーマンの活動から——
- 8 ポスト・ローマ期におけるstatusとその変遷
- 9 西欧中世国家論に寄せて——
- 10 近世フランスにおけるマリア信心会の展開
- 11 地域社会とヴォランタリ・ソサエティ
- 12 ハリファクス職工協会の事例を中心に——
- 13 ファシズム期の亡命イタリア人とフリーメイソン
- 14 ルイージ・カンポロンギを中心に——

古山 夕城
田中 成創
山上 未央
佐藤 彰一
佐々井 真知
山本 妙子
岩間 俊彦
北村 暁夫